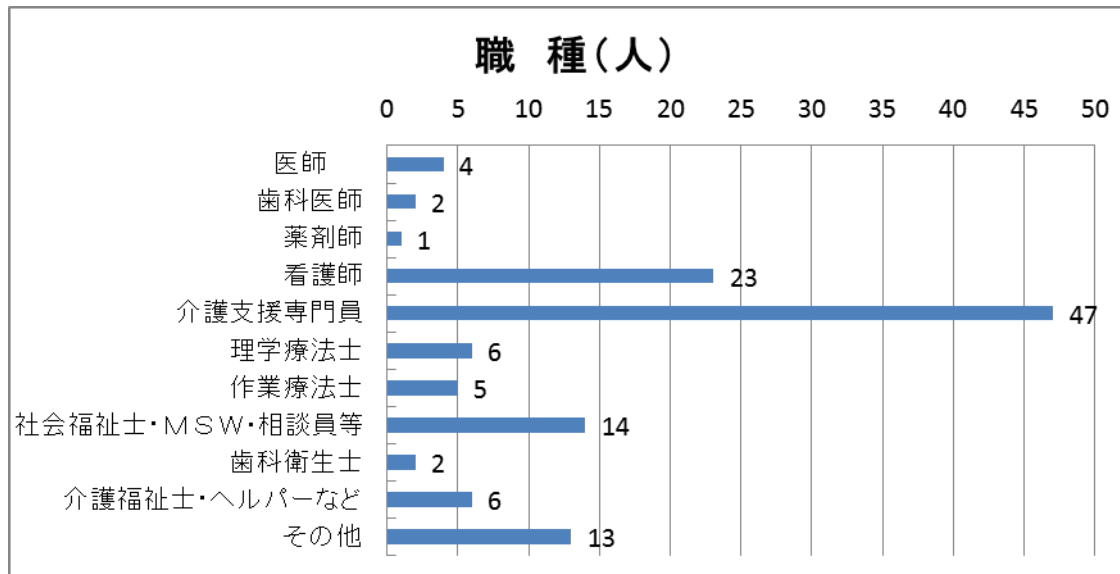


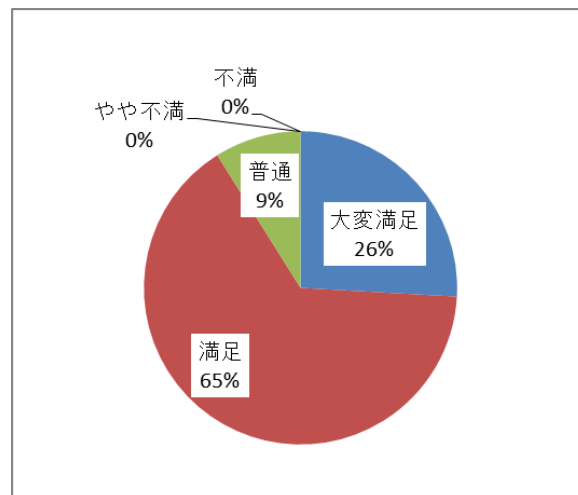
## 第3回在宅ケア多職種連携活動発表会 アンケート（結果）

平成27年11月26日（木）19時～  
ウエルパルクまもと

回答数 121 / 出席者 153（回答率 79.1%）



1 本日の活動発表会はいかがでしたか。



2 今後、どのような内容の話を聞いてみたいですか。また、地域や事業所の取り組みで聞いてみたいものはありますか。（抜粋）

- ・ 地域の方を巻き込んだネットワークを作っておられるところがあれば聞いてみたい。徘徊者の発見に向けての取り組みなど
- ・ 多職種連携から地域住民との連携に発展しているような取り組み。
- ・ 地域連携に成功した事例や活動のきっかけなどをもっと聞きたい
- ・ 地域をベースとして、発足した取り組みがあれば知りたいです。（専門職メインでなくて）
- ・ もっといろんな取り組みを紹介してもらいたいです
- ・ 今回地域での取り組みを聞かせて頂き、初めて知る事も多くありました。そのほか、地域でどのような取り組みをされているのか。事業所独自で取り組みされていることなど聞いてみたい。
- ・ 各地域包括（ささえりあ）で行われている「地域ケア会議」では、他地域でも参考になる事例がいっぱいあると思います。本当は、各ささえりあで話し合われた「会議」内容を収集して、分類、解析するとおもしろい!!と思いますが・・・まあ、各ささえりあからおもしろい!!事例を報告してもらって

はどうでしょうか？

- ・ 各地区の地域包括ケア介護の実情を知りたいと思います。
- ・ 熊本だけではなく他域の話も聴きたい
- ・ 在宅ケアにおける実際の多職種協働の取り組みについて知りたい
- ・ 在宅ケアを実際に利用した（又はしていた）方々からの意見を聞きたい。→それを踏まえて今後にかせるものがあるかもしれないので。
  
- ・ 歯科連携の会の話は興味深かった。病棟でも誤嚥の危険性のある患者さんに嚥下機能評価をし始めており、参考にしていきたい。
- ・ 口腔ケアへの評価(質の高いケアにするためのヒント)
- ・ 宅食について嚥下障害のある方への対応
- ・ 通所事業所に勤務しておりますが、口腔ケアに関して力を入れているところです。嚥下状態が低下している為、口臭がある為などピックアップし、昼食前に口腔ケアを行っています。町田先生のお話を聴いてとても勉強になることが沢山ありました。もっとお話を聴いてみたかったと思っています。又、この取り組みは素晴らしいことですし、他の地域でも実施できたらと思います。
- ・ 食支援
- ・ 高次脳機能障害の方の就労支援、職場復帰に退院後どのようにかかわっていくか。通所リハビリ等。在宅生活に戻った後の栄養管理・支援。退院後、徐々に体重減少・食思低下、補助栄養食品の家族への理解や本人の気持ちなど。
- ・ 今回の発表は発表1の中で紹介されたOHATが印象的でした。専門的な職種につなげる判断基準の紹介はとても具体的で有効だと思います
- ・ 運動不足と健康増進を目的とした運動事業の取り組み
- ・ 生活行為向上リハビリテーション加算に関する取り組みをケアマネ、通所リハの連携として聞いてみたいです。
- ・ 在宅生活を継続するために必要なリハビリへの取り組み、作業療法士からの提案など。
- ・ クラウドサービスについては大変タイムリーに対応できよかったですと思います。今後の活用が多くなるとよいかと思いました
- ・ クラウドサービスを活用されていた場合のリスク面を考え情報共有システムにて問題になった事例等も聞けたらと思います。
- ・ 病院から在宅へ医療・介護連携されている事例を多く聞きたい。
- ・ 病院、在宅への移行に対し事例などを基にディスカッションや各々の職種が連携をする
- ・ 大学病院や総合病院などの地域連携室とケアマネジャーや包括支援センターの連携についての取り組み
- ・ 病院から自宅へ戻られた患者さんへの具体的なサービス
- ・ いろんな地域でどのような取り組みができていますのかよく分かりました。今後も市民病院以外での退院支援の話を知りたいと思いました。
  
- ・ こちらとしては何らかのサービス支援が必要だと思われるが、ご本人様、ご家族様にそのような理解、認識が乏しい…。そのような方々への取り組みがあれば伺いたく存じます
- ・ 認知症の方に対するの対応や事例
- ・ 認知症カフェやそれ以外で地域の方が集い憩える機会などをやっているところなどあれば聞いてみたい

- ・ 認知症高齢者への対応。宮崎での事故発生を機に高齢者の免許証返納等難しい課題もあり、先進的な取り組みがあればと思う
- ・ 在宅での精神疾患の方々の支援（医療の連携）については、CM 対応では困難な面が多々あります
- ・ 地域包括ケアとして現在各地域団体等どんな事をやっているのか知りたい。又、精神疾患の方が多い今の社会、どのように地域社会で支えているか？参考例があれば聞きたい。
- ・ 様々な包括で取り組まれている事を知りたいと思います。熊本市包括支援センターが独自の活動をされていると思いますが、利用者が住まわれている地域の取り組みの様子を知ることによって支援する時の参考にできればと思いますので・・・
- ・ 地域サロン等で活動する医師の事例（無料のもの）
- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けたニーズ把握。サービス創出の具体例、成功例
- ・ 地域包括ケアでの事業取り組み
- ・ 地域包括ケア
- ・ ケアマネジャーの取り組みを聞きたい
- ・ ケアマネさんの取り組み
- ・ 地域の社会資源の幅や事業所間の連携の取り方などの工夫
- ・ 地域や事業所でどのような取り組みがあっているのか知らないで色々な発表を聞いてみたい
- ・ 他の区の事業所、包括の取り組みはとても興味があります
- ・ 今回のような内容で様々な取り組みを知りたいと思いました
- ・ 今後も引き続きこのような発表会を毎年お願いします。今後もいろいろ地域ごとでこのような取り組みが増えてくると思うので次回はあやの里 as a cafe「あしたづくりプロジェクト」とかもよんでみては・・・
- ・ 地域ケア会議で出されたケース紹介（困難ケース）
- ・ 地域における事業で連携を行い上手くいったケース
- ・ 失敗した話。失敗から何を学んだか
- ・ 健康教室や祭りなどの病院イベントをどのように地域に伝えているのか？効果的な広報ツール、方法など
- ・ フォーマル、制度内での多職種連携だけでなく、地域活動、住民主体の取り組み、インフォーマルな社会資源に多職種が連携する取り組みの内容を聞いてみたいです
- ・ 各地域での連携時のモチベーションアップ
- ・ 事業所が総合支援事業に向けて行う（予定）事業や取り組みについて
- ・ 総合事業に向けて動き始めている事業所の団体等あれば聞いてみたい
- ・ 地域の小さな取り組み、総合支援事業に向けての取り組み
- ・ 総合事業への取り組み
- ・ 総合支援事業の各地域での取り組み通いの場作りなど
- ・ 介護予防事業の移行に関し関心がある
- ・ 要支援の方の切り離しに対する対応について
- ・ 介護予防事業に関して先進的な取り組みをしている事業所、自主事業へ上手に移行できたところなどの取り組みを聞きたい。
- ・ 来年度の介護予防について詳しく聞きたい（介護保険の中での位置）。支援事業に移行していくと思うが先が見えないです。
- ・ 介護予防、在宅支援について
- ・ 医療と福祉の連携

- 本日の市民病院の件でもありましたが、終末医療について。
- ターミナルの方の支援（在宅）のための連携のあり方
- 主治医との連携、医師間の連携についてドクターネット以外にないものでしょうか
- 「われもこう」での生活の実際を知りたいと思います
- 難病の方への支援や連携、友の会の活動内容を知りたいです
- 院内研修などにケアマネも呼んで欲しい
- 有料老人ホームが沢山できているが分からないことが多く、利用者さんへ有料ホームを紹介するときには上手く説明できないことがある。例えば有料の施設さんの管理者等も参加して頂き、有料の施設とのつながりなどを持てる場ができればいい
- 環境整備するための仕掛け
- 継続率が高い活動（始めるのは何でも簡単なもので3年以上続いているもの月1回以上行っているもの）辞める人の少ない事業所の活動、福利厚生。
- 在宅向けのヘルパー人員不足に伴う人員補充の工夫等取り組みがされている団体の話を伺いたいです
- 活動を組織化し、構成員が増えていくと、組織運営とグループワークなどを行うことにスキルが必要と感じます。
- 運営スキルを身につけるファシリテーターの公演が聞きたい。
- 訪問診療について具体的に知りたい
- 行政と民間事業所の協働取り組み事例。
- 行政がどこまで考えているのか
- リスク管理をサポートする行政側の体制
- 行政が舵を取って多職種連携した取り組みがあれば紹介して欲しい
- 

### 3 その他、今回の研修会に関するご意見・ご感想、今後のご要望等がありましたらご記入願います。

（抜粋）

- 事例を通しての多職種の連携活動
- 健康フィットネスがあったり寸劇があったりいろんな形で理解が進んだ。院内職員に在宅医療や情報を伝えるには「劇」が有効と感じた
- 大変勉強になりました
- 他職種、他業種の連携を知ることができた。これからも本人、地域を主体とした医療、福祉の連携を深めていきたい
- 大変勉強になりました。交通の便もよく参加しやすいと思います
- 発表会の後には懇親会（飲み会）の開催をお願いしたいです。「アイデアピッチ」をすると良いと思います。更にもっとそれぞれの活動が良いものになるのではないのでしょうか？意見がある人は、もっとよくなるように意見を言ったり、私はこんな事手伝えるよ！とか、この人とつながるといいのではないかと意見を言ったりするやり方です。
- 在宅療養をささえる多職種連携の重要性はもとより、市民への情報提供やアプローチが必要だと思う。ICTの活用が今後ますます重要だと痛感。また、人、物、金をどうしたらいいのかな・・・という問題も！
- 前回の多職種連携とは内容が変わり、今回は各地区の具体的な活動などの発表を聞く機会があり、大変参考になりました。

- ・ 色々な取り組みが聞けて勉強になりました。さまざまな職種の方の意見が聞ける機会が今後もあると助かります。
- ・ 普段病院で働いており地域でのこのような取り組みについて始めて詳しく知ることができました。貴重な情報を共有できて良かったです。改めて地域のパワフルな活動に感激しています。
- ・ 今回始めて参加したが、リハ職が地域で活躍されており、かなり刺激となった。業務に活かしていきたい。
- ・ とても勉強になりました。
- ・ いつも本当に勉強になる内容ばかりでありがとう静聴させて頂いてます。
- ・ みなさんすばらしい発表、活動でした。
- ・ 色々な取り組みを知ることができて勉強になりました！
- ・ 各地区での取り組みや、他職種間の連携がとても重要であると再度実感いたしました。もっと沢山聴きたかったですが、時間が短く、もっと時間があれば良かったと思います。夜に開催して下さるので助かります。
- ・ 各事業所や団体の活動を知ることができ勉強になりました。
- ・ 多職種連携の実例をより多く見てみたいと思います
- ・ 多職種や垣根を越えた連携は患者本人のみでなくスタッフもやりがいや達成感につながると思いました。
- ・ 様々な取り組みについての発表が聞けて大変興味深かった
- ・ 各地域、事業が協力し合い新しい発信をされており、大変勉強になりました。
- ・ 各グループの貴重なお話し誠にありがとうございました。発足し、活動させていく為には、協力する事業所、職種の連携、協力が必要不可欠であると思いました。それらの方々は目的意識は同じ方向性を持つ必要があると感じた。また、同時にそれぞれの目的意識に対する熱量は異なると思うが、その差異はどのように対応しているのかと思いました。
- ・ 発表団体、内容共に偏りがなく幅広く多様に取り組みが進んでいることを実感しました。ありがとうございました。
- ・ 発表者各々の活動の様子を知ることができよかったです
- ・ 皆さんすごい頑張られていると思います。ありがとうございました
- ・ 地域でいろんな活動をされていることがわかり勉強になった
- ・ 地域における取り組みは大なり小なりどこでも行われているのではないのでしょうか？従ってその概要の説明に大きく時間を割くことより連携上の課題や成功例、具体的なツール等により魅力を感じます。また、取り組みの地域差が地域のささえりあや事業所の温度差に左右されることがない様、一定の評価があっても良いと感じます
- ・ 各地区各機関で様々な取り組みがなされており、各地域包括ケアシステムに向かって確実に連携（総合支援事業）が進んでいることがわかった。（利用者患者さん主体とした）
- ・ 今後も多くの活動をご紹介下さい。今回色々な切り口の活動を知ることができて大変良かったです
- ・ 寸劇あり、運動ありとただの講演でなく興味深かった
- ・ 色々な内容の発表を聞くことができよかったです。初めて知ったことも多かったです。
- ・ 様々な団体の取り組みを聞くことで励みになったし、今後参考になった
- ・ おもしろかったです。様々なところで連携をしているいろんな取り組みをされていることを知ることができました
- ・ 地域でいろんな取り組みが行われていることが分かりました。地域を知ると言う意味でも参加してよかったですと思います。地域包括ケアシステムの実現に向けて急性期病院スタッフもできるだけこの

ような会に参加し、地域を知ることが必要と思います。

- ・ 各地の取り組みが分かりやすい
- ・ 各地域の様々な取り組みをまとめて一覧できるようにして頂けると助かります
- ・ 体操あり寸劇あり分かりやすく、具体的でよかったです。
- ・ 皆さんの思いのある活動が励みになります。ありがとうございました。
- ・ 色々な事業の取り組みが行われておりびっくりしました。実行委員会の立ち上げから自主事業実施まで大変だったと思いますが、我々も少しずつ取り組みをしていきたいと思っています。市民病院の在宅支援の取り組みも興味深かったです。
- ・ 顔の見える連携を実感している。関係者からの生の声を聴くことは非常に勉強になります。
- ・ 地域ネットワーク作りの今後の展望として「自分らしさ」を引き出し、他職種、住民の連携で1人1人が社会参加をしたいという高齢者を1人でも出していくことの重要性を理解することができた。他事業所の連携を進めていく事で利用者から住民への幅が広がっていくと感じました。
- ・ 活動発表後に、参加者全員参加の話す時間、グループワークができると良いです。なかなか他職種の方と垣根のない話がしたいです。
- ・ 途中までの参加でしたが、どれも内容が濃く、参考になるものばかりでした。また、参加します
- ・ 今活動されている現状を耳にして大変勉強になりました。驚くことばかりでした。ありがとうございました。
- ・ 薬局では地域とのつながり、在宅活動は少なく、知識不足です。このような他職種の研修会に積極的に参加し、地域連携を強くしていきたいと思いました。
  
- ・ 西区医科歯科連携：食べることは生きること。同感です。口腔ケアの大切さが良く分かりました。うちの校区にも歯医者さんが沢山あるがサロン等で話してもらったことがなかった。話を聞いて「やっぱり歯医者に行かんと」と、思われるような話をして欲しい。
- ・ 歯科医の町田先生みたいな方が近くにいらっしゃればなーと感じましたが、在宅に対する熱意に各歯科医の先生方、差があるのかなと思いました。もっと、きちんと口の中もみていかなければと改めて感じました。気軽に相談できる歯科が他にありません！
- ・ 歯科の支援についてとても良い情報が得られました。今後、利用者様の口腔ケアについて活用させていただきたいと思います
  
- ・ 健トレ in 月出：素晴らしい。継続と広がりを目指します。参加者の中から少しずつ運営に加わる方が出てくると理想的ですね。
- ・ 多事業所の協力で成り立っている健トレ興味深かったです
- ・ 健康教室を私共も行っているのですが大変参考になりました。又参加させていただきたいと思いません。ありがとうございました
  
- ・ とともにスピーチ：このような視点に気付かませんでした。中央区にもあるのかな。ないのなら動き出してくれないかな。
  
- ・ にしくまもと病院：すごいです。ITのこと詳しくありませんが、対象者に応じて様々な関係者が一つの場で情報交換できるなんていい。熊本市全体でできないかな。
- ・ クラウドサービスについては興味を持ちました。もう少し詳しく話を聞きたいです。市民HPでの対応について、寸劇を交え説明してもらい分かりやすかったです。

- ・ クラウドサービスを利用するには約いくら程料金がかかるのかをお尋ねしたかったです
- ・ 全ての発表に興味を持って聞くことができました。クラウドサービスに関しては、年齢的に自身がありませんので少し不安です。
- ・ クラウドは経費どのくらいかかるのでしょうか？その負担はどう分けられているのでしょうか？
- ・ 個人情報のろうえいの心配なく他職種にて支えることができるクラウド活用はとても良いシステムだと思いました。
- ・ クラウドサービスの実用化できれば有り難いと思います
- ・ クラウドサービスについて今後はもっと広がっていくのだろうと思いました。自分の職場でも連絡方法としてメールを使っています。市民病院の発表が力が入っててよかったです。様々な地域の活動を知ることができよかったです。
- ・ 各々の地域の取り組み。色々な方向性がみれて良かったです。クラウドサービスの活用はとても良いと思いました。
  
- ・ 熊本市民病院：「IC をする」という言い方は間違っていると思う。「IC を得る為の説明をする」が正しいのでは。退院支援の場での IC の主体もやはり患者本人が原則だろうが、今日示されたようなケースは本当にありそうなことで、MSW も大変ですね。結局、医療、介護、家族、場合によっては地域も含めて皆の知恵を集めていくしかないのでしょうかね。
- ・ 私も民生委員として地域ケア会議には加わりますが、退院支援のケースで関係者 12~3 名が集まって話しあった事もあります。
- ・ 市民病院さんが寸劇で示してくださった内容は、在宅への移行について分かりやすかったです。その後、支援する側のケアマネとしても頑張りますので、カンファレンス含め遠慮なく活用していただければ良いと思います。
- ・ 市民病院の寸劇が今の現状をよくあらわしており、その中での課題が解決していくと大変我々もありがたいと思いました
- ・ IC に看護師が出席しない（できない）のが実情だと聞いてびっくりしました。
- ・ 熊本市民病院の劇が一番わかりやすく、病院での様子がリアルに解りました。在宅支援の様子が理解できているので安心しました。
- ・ 包括支援センター、病院の連携室だけではなく、病棟スタッフまで退院に向けた意識を持っていただけと言うことは、在宅復帰率にもつながるのではないかと感じました。病院、地域で共通の目的意識を共有できるといいですね。
- ・ 熊本市民病院の劇は大変分かりやすくて良かった
  
- ・ スライドが見にくかったのもう少し工夫していただければ
- ・ スライドが見にくかった
- ・ スライドが少し見えづらかったものもありました。
- ・ 後方の席でしたのでスクリーンがとても見にくかったです。会場が寒かったので健康トレーニングの体操で少し温まりました。
- ・ 5 題とも大変興味があり、新しい情報を得られました。立派な資料で発表されましたが、室内が明るい為パワーポイントの文字や画面がはっきりしてなかった。
- ・ 資料としては（各発表の）スライドの配布資料が欲しいです。ただ参考資料だけもらっても分からない。
- ・ 発表内容の資料が欲しい

- 発表分に対して資料があればありがたいです。
- 準備は大変かと思いますが今後も継続して欲しい。1 ケース発表時間が長い気がした。
- 時間厳守
- 発表の時間が短く、最後の部分が駆け足にあることが多いのが残念
- 少し遅い時間初冬ですし暗くもあり寒い。もう少し早い時間だと良いと思います
- もう少し早い時間から始めてほしい。
- 日程を考えて欲しいです。つき半ば頃が少しゆっくりあるかなと思います。
- とても興味深い内容ばかりでした。できればもう少し詳しく話を聞きたかったです。
- 皆さんはなしたいことが多いんだなあと思いました。時間で終わる人がほとんどなかったのが印象的でした。もっと発表できる機会があるとよいのでは。
- 非常にためになった。できれば、それぞれ 25 分くらい時間で題目を絞って発表されると内容も濃くよかったのではないかと思った。
- 発表は 20 分ではないのか。体操はカットしても良かったのでは、質問の時間が少なかった。